

# 第 53 回日本頭痛学会総会

The 53<sup>rd</sup> Congress of the Japanese Headache Society

## 募金趣意書

初 版

会 長 端 詰 勝 敬

(東邦大学医学部心身医学講座 教授)



# ご 挨拶

謹啓

新春の候、貴社におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素より格別なるご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、私共は来る 2025 年 11 月 21 日（金）、22 日（土）、パシフィコ横浜  
ノースにおきまして第 53 回日本頭痛学会総会を開催させていただくこととなりました。

本大会のメインテーマは、「頭痛診療とチーム医療の融合と展開」とし、この大会の顧問  
を間中信也先生にお願いいたしました。私自身は、心療内科や心身医学の立場から頭痛診  
療や研究にかかわってまいりましたが、10 年以上の間、小田原にある間中病院で間中先生  
の頭痛外来の患者さんを心療内科として一緒に診療する形を続けてきました。そこで感じ  
たことは、頭痛のチーム医療の重要性です。頭痛は脳神経内科、脳外科だけですべてを診  
られるものではありません。一方、小児科や心療内科、精神科だけでも診ることができな  
い難しく複雑な病態です。各診療科はそれぞれ難治性の頭痛を一生懸命に診療するのです  
が、ほかの診療科、産業医、看護師、心理士、鍼灸師、医療事務なども頭痛の診療にどの  
ようにかかわっているのか詳しくは知らないことがほとんどだと思います。

頭痛は、片頭痛だけをとりても、反復性から難治性まで、トリプタンが効きやすい頭痛  
から薬物乱用を伴う頭痛まで、CGRP 関連抗体製剤が劇的に効果を示す片頭痛からノンレ  
スポンダーまで、生活に支障がない頭痛から、不登校や休職中の頭痛まで様々です。今回  
は学術総会では、治療技法の最先端の話題を提供し、議論することはもちろんですが、頭  
痛を幅広い視点で見つめ直し、他の診療科、他の医療スタッフとどのように協力していく  
ことができるのかを考える第一歩になることを期待し、魅力ある企画を盛り込み、参加者  
にとって実り多い学会となるよう、現在関係者一同鋭意準備を進めております。

つきましては、本学会総会開催にあたり、最新の技術の紹介や情報の交換を目的と  
して、共催セミナー、企業展示を開催いたしたくご案内申し上げます次第でございます。  
また、プログラム・抄録集への広告出稿についても併せてご案内申し上げますので、関係  
企業様におかれましては、この学会総会の趣意をご理解賜り、ご支援とご協力を賜ります  
ようお願い申し上げます次第でございます。

諸般厳しい情勢の中、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて

- 1) 日本製薬工業協会策定の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に  
基づき「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、  
学会寄付金に関する「学会名」とその「金額」を貴社のウェブサイト上に公開する  
ことに同意いたします。
- 2) 日本医療機器産業連合会策定の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライ  
ン」に基づき「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に  
従い、協賛金に関する「学会名」とその「金額」を貴社のウェブサイト上に公開する  
ことに同意いたします。

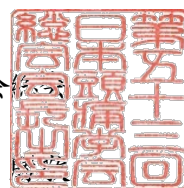
末筆ではございますが、貴社の益々のご繁栄を祈念いたしております。

謹白

2025 年 1 月吉日

第 53 回日本頭痛学会

会長 端詰



（東邦大学医学部心身医学講座 教授）

# 学会開催概要

1. 学 会 の 名 称 第53回日本頭痛学会総会
2. 会 長 端詰 勝敬  
(東邦大学医学部心身医学講座 教授)
3. 総 会 顧 問 間中 信也  
(医療法人社団緩和会間中病院 名誉院長)
4. 総 会 事 務 局 東邦大学医学部心身医学講座  
事務局長 竹内 武昭  
(〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1)
5. 会 期 2025年11月21日(金)・22日(土)  
※11月20日(木) プレコングレスセミナー開催
6. 会 場 パシフィコ横浜 ノース  
(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-2)
7. テ ー マ 頭痛診療とチーム医療の融合と展開
8. 会 員 数 約3,400人
9. 参加予定者数 約1,200人
10. 開 催 の 目 的 様々な頭痛疾患に係わる諸問題および関連する新しい治療法、最新の技術に関する報告などを通して、今後のわが国における医療の発展に貢献するとともに会員の親睦と医道の向上を目的とする。
11. 予定プログラム 会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、教育セミナー、一般演題、市民公開講座 共催セミナー
11. 寄 付 の 規 模 150万円
12. お 申 込 に つ い て 総会HP内、「協賛申込」ページよりお申込ください。

13. 運営事務局、お申込み・お問合せ先

株式会社サンプラネット

東京事業部 メディカルコンベンションユニット

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6階

TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396

E-mail：53jhs@sunpla-mcv.com

# 寄付金募集要項

1. 学 会 の 名 称 第 53 回日本頭痛学会総会
2. 募 金 責 任 者 会 長 端詰 勝敬  
(東邦大学医学部心身医学講座 教授)
3. 募 金 目 標 額 150 万円
4. 募 金 期 間 2025 年 1 月～2025 年 11 月 22 日
5. 募 金 目 的 第 53 回日本頭痛学会総会の運営およびその関連諸行事  
の費用として充てるため
6. 総 会 事 務 局 東邦大学医学部心身医学講座  
事務局長 竹内 武昭
7. 寄付申込書の送付先 株式会社サンプラネット  
東京事業部 メディカルコンベンションユニット  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10  
住友成泉小石川ビル 6 階  
TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396  
E-mail：53jhs@sunpla-mcv.com
8. 寄付金の納入先

銀行名：三菱 UFJ 銀行

支店名：蒲田支店（店番：117）

科 目：普通預金

口座番号：1766883

ダイゴジユサンカイニホンス ツウガ ッカイソウカイ ダイヒョウ ハシヅ メマサヒロ

口座名：第 53 回日本頭痛学会総会 代表 端詰勝敬

# 収支予算書

【収 入】		
参加者会費 会員(日本頭痛学会・国際頭痛学会)	13,875,000 円	15,000×925名
非会員	4,320,000 円	18,000×240名
メディカルスタッフ(非会員)	150,000 円	5,000×30名
初期研修医・医学部生	-	5名
プログラム・抄録集販売	200,000 円	2,000×100冊
機器展示会	5,390,000 円	基礎小間:275,000×10 スペース小間:220,000×12
書籍展示	30,000 円	
プログラム抄録集広告掲載	1,980,000 円	275,000×1、220,000×1、165,000×1、110,000×5、 77,000×10
HPバナー広告掲載	550,000 円	110,000×5枠
共催セミナー	35,860,000 円	2,530,000×2社、2,200,000×11社、 1,650,000×4社
学会本部補助金	500,000 円	
寄付金	1,500,000 円	
収入合計	64,355,000 円	

【支 出】		
事前準備費 旅費・交通費	300,000 円	打合せ会議 他
事務費	1,933,100 円	ホームページ製作、事前参加登録他
印刷費	3,500,000 円	プログラム・抄録集印刷
印刷費	1,240,000 円	ポスター、チラシ、参加証印刷等
展示・広告関係費	1,192,000 円	展示会場装飾費等
通信諸費	180,951 円	通信費、郵送手数料、送料他
当日運営費 人件費	3,560,000 円	会場ディレクター、アルバイトスタッフ他
機材・備品・WEB開催費	11,478,040 円	講演機材、備品、WEB関連機材費
看板装飾	1,030,000 円	会場内装飾費等
会場費・付帯設備費	17,500,000 円	パシフィコ横浜ノース
招聘関係費	6,700,000 円	宿泊費、交通費、謝礼金、記念品
会合関係費	7,380,000 円	会長招宴、会員懇親会、各種関連会議
事務局費	600,000 円	スタッフ飲食、予備費等
業務委託費	2,602,814 円	学術集会運営事務局委託費
諸経費・消耗品・レンタル等	1,795,000 円	
消費税	2,863,095 円	
事後処理費 学会助成金返金	500,000 円	
支出合計	64,355,000 円	